

## 令和5年度 すくすくウォッチの分析

河内長野市立天野小学校 5年生

### 1. すくすくウォッチの概要

#### 国語

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	71.5
思考・判断・表現(書くこと)	78.5

#### 算数

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	33.8
思考・判断・表現	5.8

#### 理科

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	53.3
思考・判断・表現	69.2

#### 概要

既習事項である基礎的な内容が出題されています。漢字や助詞の使い方、「そこ」などの指示語、接続語、など言葉の特徴や使い方に関する事項、ローマ字やことわざ、故事成語など、言語文化に関する事項、情報の扱い方に関する事項が出題されました。

#### 特に成果が見られた問題例

- ・分の中における主語と述語の関係に注意して、述語の部分を正しく書く。
- ・一文を二文に分けて書くとき、情報と情報との関係を理解して文の内容を正しく捉える。
- ・文中における言葉の意味を正しく理解し、その反対の意味を表す言葉を理解する。

#### 特に課題が見られた問題例

- ・ことわざの意味、故事成語の意味を正しく理解する。
- ・文を正しく理解し、指示語の指示内容を捉える。
- ・文の中における修飾語と被修飾語の関係を捉えて、文の内容を正しく理解する。

#### 概要

「数と計算」「図形」「測定/変化と関係」「データの活用」についての出題がありました。観点別正答率では「知識・技能」が33.8%で、「思考・判断・表現」は5.8%とかなり低かったです。また選択式や短答式の正答率はやや高いですが、「記述式」が低いことがわかりました。

#### 特に成果が見られた問題例

- ・宿題を進めて何日ですべて終わることができるかの問題で、わり算を使って立式し商を求める問題。
- ・長方形と正方形の面積を求め、その差を比べる問題。

#### 特に課題が見られた問題例

- ・問題文やグラフから読み取れる情報をもとに計算し、求める問題。
- ・図形の構成する要素や性質を使って考え、説明する問題。

#### 概要

「エネルギー」「生命」についての出題がありました。平均正答率は、「エネルギー」の領域では、60.6%、「生命」の領域では、56.4%でした。選択式、記述式は6割程度ですが、短答式では4割程度の平均正答率でした。

#### 特に成果が見られた問題例

- ・観察記録から、気温とサクラの開花の関係を考え、正しく表したグラフを読み取る問題。
- ・季節による植物の成長の違いを理解する問題。

#### 特に課題が見られた問題例

- ・乾電池2個と豆電球1個からなる回路で、乾電池を直列つなぎにしたときと並列つなぎにしたときの豆電球の明るさの違いを理解する問題。
- ・とじこめられた空気の性質を利用している身のまわりの例を選択する問題。

## 教科横断的な問題わくわく問題

観点別	学校の平均正答率
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	73.1
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	50.0
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	63.5
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	56.7
E 興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	92.3

### 概要

児童にとって身近な「ソース」を題材とし、種々の資料を読み取り、それに基づいて思考する力や、自分の立場を明確にした上でその理由を表現する力を育てることを目的とした問題やロボット掃除機の観察をきっかけとして論理的に思考する問題、大阪万博に関連した「ピクトグラム」を題材とし、資料を分類・整理し、相手にわかりやすく伝えるための工夫を考え表現することを目的とした問題が出題されました。

### 特に成果が見られた問題例

- ・児童にとって、身近な「ソース」を題材とし、地図を使って、【ソースについてのアンケート結果】をもとに地方でよく使われるソースの特徴について、表を読み取る問題。
- ・ロボット掃除機の観察をきっかけに、論理的に思考し問題を解決していくもので、資料の情報を整理して伝える問題

### 特に課題が見られた問題例

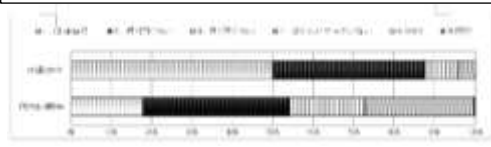
- ・問題を自分事として考え、条件にあわせ、自分の考えやアイデアを文や絵で表現する問題。
- ・それぞれの問題において、理由や根拠を明確にして伝える問題。

## 2、すくすくウォッチの概要

### 児童アンケート

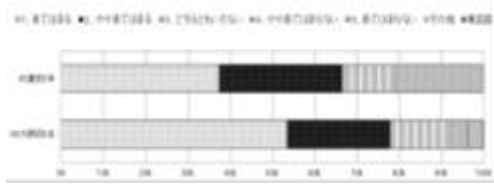
#### 特に成果が見られた項目 経年変化比較

51. 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか。



#### 特に課題が見られた項目 経年変化比較

21. 新しいことに挑戦することは好きだ。



## 概要

目標にむかって頑張る力、人と関わる力、気持ちをコントロールする力、好奇心についてアンケートがありました。また、学校の様子や、授業での様子、授業以外の様子や学校以外の様子についても項目がありました。

### 特に成果が見られたアンケート項目例

「51. 授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分にあった問題やドリル等に取り組むことはどれくらいありますか。」という項目では、学校での授業で積極的に考えを伝え合う学習を行ったり、タブレット端末の持ち帰りが高くなっていると考えます。

### 特に課題が見られたアンケート項目例

「21. 新しいことに挑戦することは好きだ。」という項目では、見通しが見られない内容に対して、不安感が高いと思う児童が多いようです。新しいことに挑戦することへの意欲が少し低くなっているかもしれません。

## 良かったところ

- 自分にはいいところがある。
- タブレット学習が定着してきた。
- 先生はあなたのよいところを認めてくれている。
- 黒板に書かれたことをノート等に写している。
- 話し合いをするときに、友だちの意見を最後まで聞いている。
- 家の人と、その日の出来事について話をしている。
- 家の中にホッとする場所がある。
- 家の人にほめられることがある。

## 課題として見られたところ

- 新しいことへの挑戦する意欲が少し低くなっています。
- 読書の時間が大阪府と比べて、短いです。
- 自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかってもらうことに対して、「ややあてはまらない」が多かったです。

## 結果を受けて

### (1) 学校が重点的に取り組んでいくこと

- ア 複数の資料を関連させて問題を読み取る活動を継続します。
- イ 理科の授業では、問題意識→予想→実験→結果(観察)→考察という流れを重視しています。予想や考察から思考力を高めて、実験や観察により、体験的な学びをしています。ノートに自分の考えを書いて発表し、表現力を高めています。
- ウ 具体物を使って作業をさせながら考えさせる授業を意識します。
- エ かけ算わり算等の計算の仕方だけを理解するのではなく、筆算の意味を理解させながら正答を導きだせるようにします。
- オ 図やグラフ・表から情報を読み取ったことをもとに自分の考えを持ち、表現できるように

していきます。

カ 授業の中で単に知識・技能を理解させるような授業ではなく、理解したことを活用して考えを説明する力をつけさせるようにしていきます。

キ 児童一人ひとりが、見通しをもてるように、授業の流れや勉強の計画を共有していきます。

## (2) 児童のみなさんへ

ア 聞くことは、とても大切な力です。立派な聞く力は、急激に身につくものではありません。最後まで聞く、相手を見る、理解する、普段から聞く練習をし、少しずつレベルアップしていきましょう。

イ 今話題のニュースは、何かわかりますか。ニュースを見るだけでは、まだ序の口です。ニュースを見て、世間はどのように考えているか、自分はどのように考えるか、より多くの人が幸せになるにはどうすればいいか、を考える「くせ」をつけましょう。

ウ 「時は金なり」ということわざがあります。若い時に、いろいろな経験や知識をつけることで、今後大きく成長していきます。ゲームやスマホとはうまく付き合い、使う時間を決めましょう。あなたの貴重な時間を、何に使うのかよく考えましょう。

## (3) 保護者のみなさまへ向けて

ア 「あのさー」「なんで?どういう意味?」はチャンス

子どもが話したいことを話すときが、話し上手になる1番のチャンスです。また、子どもが疑問に思っただけ聞いてきたときが最大のチャンスです。つい、「あとでね。」「自分で調べ。」としてしまうこともあるかもしれません。子どもの好奇心は、突発的です。時間の許す限り、一緒に考えたり、調べたり、子どもに教えてもらったりすると子どもはどんどん吸収していきます。そうすることで、知的好奇心は継続的になっていきます。

イ 読書に親しむ習慣づくりを

読書は、生活力、学力の基礎となります。読書によって身につく力は、無限大です。語彙力はもちろんのこと、集中力、読解力、分析力など様々です。小説や物語は、気持ちを理解する力がつきます。図鑑やノンフィクションは、新しいことを調べる力がつきます。

お子様には、その子に合った本を選ぶことを、お勧めします。年齢や話題を基準とした本が、常にその子に合うとは限りません。興味関心がある本をきっかけに読んでいくと、「読む力」が高まります。「読む力」がついてくると、いずれ文字数が増えたり、専門的な本を選んだりするようになります。いろいろな本を自然と読めるようになると、生活力、学力ともに自立へと進んでいくと思います。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご支援をいただきながら、大切なお子様を保護者の方といっしょに育てていきたいと思っております。今回の結果を参考にさせていただいて、ご家庭でも今後のことについて、お話ししてけると幸いです。よろしくお願い致します。